

森林セラピー通信
森のたより
(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

長野から、うれしい贈りもの

昨年、長野県から飯南町に視察でお越しになった信濃町森林療法研究会(ひとときの会)の皆さんから、現地では旬の「トウモロコシ」をいただきました。弾けんばかりに実が詰まったトウモロコシは糖度抜群。高原の味覚を堪能しました。

長野県信濃町の森林セラピー基地は、全国でまだ2つしかない「2つ星認定基地」。数年前に訪問した際には、野尻湖畔のコースを散策したり、「癒しの森の宿」でアロマ体験をして、身体に優しい食事を食べたりと、「森林メディカルトレーナー」が行程の全体を管理してくれました。



町全体で「癒しのおもてなし」をする姿勢にとっても感銘を受けました。この交流を通して、飯南町の森林セラピー基地も「2つ星基地」として切磋琢磨し、もっと多くの方に「森の癒し」をお届けできるように頑張りたいです。

森のお弁当

森林セラピーで提供する専用のお弁当「森のお弁当」が好評につき、このたび、一般販売されることになりました。加田の湯のごんべえ茶屋で作られている「森のお弁当」の目玉は「奥出雲和牛の炊き込みご飯」。奥出雲和牛の旨味を存分に引き出した炊き込みご飯は、喉通りもよく、飲みものがなくてもパクパクと食べられちゃいます。また、季節ごとに工夫を凝らした総菜も絶品。山菜や煮しめ、きのこの天ぷらなど、季節を感じられます。秋の行楽シーズンには、「森のお弁当」を片手に、紅葉の森でピクニックをしてみたいかがでしょうか。



森のお弁当価格:1,100円(税込)
お茶付き+150円
※2個からご注文可(3日前までに要予約)
■問合せ:加田の湯 ☎76-3357

文化を感じるまちへ 飯南町文化協会

飯南町文化協会に加盟している団体の活動を紹介します。今月は「ダルマーズ」です。僕たちは飯南町出身の藤原誠太と、大阪出身で飯南町在住の林正知の二人でライブ活動をしています。

こんにちは。ダルマーズです。藤原は歌とウクレレを主に担当しています。小さい頃から歌が好きで、小学校の頃から人前のさまざまな場所で歌っていました。ウクレレは2年前に始めたばかりですが、頓原公民館でウクレレ教室の講師をしています。

次に林ですが、ピアノを担当しています。こちらも小さい頃からピアノに慣れ親しんでおり、県内外問わずキーボードを担いで、演奏行脚をしています。

コンビを結成して3年になりましたが、町内のイベントやサロンなどで演奏させていただいています。コロナ禍で活動もままならない状況でしたが、少しずつ演奏の機会が増え、喜んでいきます。皆さんの前で演奏できる幸せを噛みしめ、これからも精一杯活動を行いたいと思います。出前ライブ演奏



世代を問わず多くの皆さんに音楽を届けます

■問合せ 頓原公民館
☎72・0980

短歌

赤名短歌会 八月例会詠草

エプロンにそととトマトを包んだ母と散歩した日の笑顔浮かびて 星野 敦子
丹精のみ寺の庭に咲き匂う花づくし届く雨のホーンに 石田フクエ
悪童の吾をいつくしみかばいたる君はこの世の菩薩なりしか 清原 豊明
とろとろと眠りおぼろにまた眠る午睡の耳に夏漂へり 烏田 勝信
人生をかけて取り組む核廃絶あきらめぬ青年らを知らされし夏 門所 詠子
「きらり号」はオーナーの遺志級友の在宅シヨップに互に感謝 澤田 勝登
夏空に悠然と浮かぶ雲にのり行つてみたいなあ未知なる世界 吉川 暎子
何となく目札をもて行きあえば鬼ヤンマつと向きを変えたり 澤田久美子
目まぐるしく移りゆく世に老いし身は時代の流れについてはゆけず 本間 麗子

俳句

琴峯華句会 八月の作品から

一汁に土用蛸の沈まりて 安部 豊枝
庭下駄のはきゆるみより今朝の秋 石田シヅカ
秋暑し電話のベルのけたたまし 佐々木康子
誰に言うでもなき小言残暑なほ 田部智津子
もろこしを抱へきれざる子の笑顔 土池 博子

すぢ雲は峯から峯へ今朝の秋 朽木 豊子
手の甲に透ける血管秋暑し 松平富美子
審判の右手の拳夏終わる 山崎智恵美
朝涼や棚田見下す家に住み 八嶋 昭男

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」
優秀作品から

人の和は、
コロナに負けない
強いもの

赤名小6年 安田紗奈さん
家族名 安田 隆志さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやかに

8月届出分

新生児 朝津 優例(71) 直 哉(赤名)
大塚菜々美(84) 雄 嗣(真木)
重栖 香帆(97) 慎 典(頓原)

やすらやかに

8月届出分

お名前 朝日百穂子(71) 英 夫(上区)
原田 房数(84) 明 子(真木)
源 光子(97) 彰 弘(赤名)

今日の表紙

三日市で開催した「ブランドメツセージフェスティバル」。ずらりと並んだテント市と多くの来場者で賑わいました。

オープニングイベントでは、飯南高校書道同好会によるパフォーマンスで決定したブランドメッセージをお披露目。

表紙の余白部分にはロゴを掲載。使用した形や色は次のことを表現しています。

三角の緑色…豊かな山
丸のピンク色…温かい人
四角の水色…澄んだ川
皆さんのアイデア次第で自由な形を変える「余白あります。」
(8ページに関連記事)